

コード	201050101
記入日	H23.5.31

事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石 英穂
担当者	川淵 靖

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	汚泥再生処理センター管理運営事業
----------	------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	5
事務事業コード	2010501	事務事業名称	汚泥再生処理センター管理費	細目コード	319
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画		法令・条例規則等	廃棄物処理法、新上五島町廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例、新上五島町一般廃棄物処理施設設置条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	<p>・平成22年度から5ヶ年の包括的運営管理委託において運転維持管理・機器点検整備等を委託してし尿・浄化槽汚泥 22,782.13klの年間処理を行った。</p> <p>【主な事業費内容】</p> <p>→需用費 99,138千円</p> <p>→役務費 1,510千円</p> <p>→委託料 149,592千円他</p> <p>→合計 250,373千円</p>	*****	*****	*****	*****	*****
①		保守点検回数	16回	100%	保守点検回数16回+計画保守点検回数16回	平成22年度
		(達成率分析)	施設設備等の安全確保のため、計画通りの保守点検を実施した。			
*****		*****	*****	*****	*****	*****
②	修繕回数	0回	0%	修繕回数0回 / 修繕計画2回	平成22年度	
		(達成率分析)	車輛修繕を予定していたが事務事業の見直しにおいて本庁管理となり不要となった。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	<p>・包括的運営管理委託において設備機器の点検整備とし尿・浄化槽汚泥の適正処理における運転維持管理を行い、廃棄物の再生利用を図り、住民の安心・快適な生活環境づくりを図った。</p>	*****	*****	*****	*****	*****
①		再資源化率	0.7%	100%	H22年度堆肥化実績 0.7%+一般廃棄物処理計画0.7%	平成22年度
		(達成率分析)	新上五島町一般廃棄物処理計画の堆肥化率は、0.7%であるが平成22年度の堆肥化率においても0.7%であった。			
*****		*****	*****	*****	*****	*****
②	安全稼働日数	365日	100%	安全稼働日数365日 / 年間稼働可能日数365日	平成22年度	
		(達成率分析)	保守点検等の実施及び運転維持管理が適正に行われたことで安全に稼働ができた。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	107	104	88	17	16				
	② 回	16	16	16	1	0				
成果指標	① %	427	427	327	100	100				
	② 日	2,191	2,191	1,826	365	365				
総事業費 C (A+B)	千円	1,307,382	1,311,133	1,057,260	250,122	253,873				
直接事業費 A	千円	1,251,382	1,255,133	1,004,760	246,622	250,373				
人件費 B	千円	56,000	56,000	52,500	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	8.0	8.0	7.5	0.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	183,683	183,497	138,119	45,564	45,378			
一般財源	千円	1,123,699	1,127,636	919,141	204,558	208,495				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	一般廃棄物の減量化及び適正処理は、法律に基づくものであり、町としての責務である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	本事業の目的と事業の範囲は、一般廃棄物のし尿処理及びその再資源化等を対象としており、住民生活に密着した関連事業であることから時代情勢や環境の変化があつたとしても事業の必要性はある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	循環型社会の構築の概念及び建設した目的を考えれば妥当である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	当年より5ヶ年間の包括的運営管理業務委託を行い、トータル経費削減と安定した維持管理において成果があつた。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	包括的運営管理委託において民間の創意工夫を発揮し、性能を維持確保することで安定した運転が行える。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	経年劣化した設備機器等を把握して故障等が最小限に抑えられることで経費削減となる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	他の事業との整理統合は出来ない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	包括的運営管理委託をすることで設備機器が対応年数を超えて修繕・更新等の費用が増大するため事業費の平準化を図り、早期整備・緊急時への対応ができることで経費削減に繋がる。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	リサイクルと合わせた受付業務の検討が必要と思われる。
	・受益者負担は適正ですか。	はい ●いいえ	理由	今のところは適正であるが燃料等の高騰により汲み取り料金及び処理手数料の見直しを検討する必要がある。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	肥料の有効利用・促進（臭いの軽減・有料化等）の検討が人用である。
		効率性	包括的運営管理業務委託において事業費の削減・5ヶ年間の平準化が図られる。
		課題に向けた改善策	費用も含めた肥料の臭い軽減策について検討中である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	循環型社会形成のため堆肥などの有効利用は継続し、住民への利用促進を図ること。また、施設の維持管理は適正に行うこと。
		効率性	施設の維持管理は適正に行い、補修等は計画的に実施すること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があつた場合のみ、再公表するものとする。